

就労の不安定さ、乳幼児の保育の問題などが大きな要因だと思います。これなどは、政治の問題であります。今の若い人たちも、ぜひ政治に関心を持ってもらいたいと思います。そして、切実な自分達の問題として声を大きくしていただきたいと思っています。

(Ma・H)

人生、結婚だけが幸せではないと思います。家族の絆、暖かい家族愛に育まれ、人と人が支え合いながら人生を送ることも幸せだと思います。日本の社会制度は、夫婦単位の考え方が強いように感じます。

(Mi・K)

結婚というのは、家族の誕生を意味していると考え、これは人間が生きていく事と、家族というものの関係に他ならないと思います。

家族というのは、対人関係論的には、愛の人間関係であり、便利な世の中で経済的に豊かであろうとなかろうと、愛の人間関係(恋愛関係とは限りません)の中で生きていくのが幸福だろうというのが、人類史上変わらぬ事実だと思います。

(Ma・O)

素敵なご夫婦を紹介します

春山 幸一さん (75歳)
ミキさん (76歳)

長い人生を共に歩み、共に楽しめることが幸せだと感じさせてくれる、春山さんご夫妻をご紹介します。

お住まいは多田木町です。今年の3月に「春山幸一・ミキ写真展 今昔」を開きました。

春山さんが目指す写真は、人です。「二度と見られなくなってしまうかもしれない表情を、今のうちに写真にして後世に伝えたい。過疎の山村で生活する人々のひたむきな姿に、いつも感動します」と撮影を続けていらつしやいます。

「いい写真が撮れるのは妻のおかげです」という幸一さん。「自分の技術で撮るのではない。女房が被写体になる人たちと会話をし、一緒に農作業をします。そこに、つながりができるから、いい写真が撮れるのです」とおっしゃいます。

取材をして感じたこと

妻ミキさんの存在が、被写体の方のいい表情を生み、その結果、幸一さんの思うような写真が撮れます。その写真が、多くの感動を呼び、ご自身もその充実感を満喫できたのだと感じました。

ご自身のことをこんなふうに話せるご夫婦は素敵ですね。お二人のご多幸を、お祈り申し上げます。



*** 編集後記 ***

TVでは、九州の集中豪雨やオリンピックのニュースが報道されています。

今回、高齢者の皆さんにアンケートをお願いしました。見ていると改めて「結婚や幸福について」考えさせられます。

春山さんご夫婦には関連としてお話を聞かせて頂きました。身近な人を大切に！

山裾で黄釣舟草が咲いています。後部が巻く感じの黄花です。普通の自然を壊さず次世代へ残せればと思います。

(Ma.K)

*** お知らせ ***

ひと to ひとのフォーラム足利2012

【日程】平成24年12月8日(土)

午前10時30分

人権ポスター・書道・作文表彰式・作文朗読

午後1時10分 早瀬昇さんの講演会

午後2時30分 パネルディスカッション

※作品(人権ポスター・書道・作文)等展示

【場所】市民プラザ小ホール